

平成22年度予算総額 919億7,102万2千円を可決



平成22年3月市議会定例会は、3月1日から3月18日までの18日間を会期として開かれました。
この議会では、「平成22年度熊谷市一般会計予算」などの市長提出議案31件を審査し、28件を原案可決、3件の人事案件に同意しました。

また、議員提出議案4件のうち、3件を原案どおり可決し、1件は否決しました。
さらに、委員会提出議案1件を原案どおり可決しました。また、市民の方から提出された請願1件も審査しました。

3月定例会の概要

初日（3月1日）の本会議では、市長から「私は、『信頼、誇り、笑顔』の3つの目標と6つの政策分野における58の施策を掲げ、力の限りを尽くして、市政運営に取り組む決意を申し上げてきた。3つの目標とは、『市民から信頼される行政』『市民が誇りをもてるまちづくり』『市民の笑顔があふれるまち熊谷』を目指すことである。6つの政策分野とは『市民が元気で健康なまちをつくること』『子ども

もたちが輝き、夢と希望がもてるまちをつくること』『活気にぎわいのあるまちをつくること』『安全と安らぎのあるまちをつくること』『便利で機能的なまちをつくること』『効率的な財政経営を進めること』である。この3つの目標と6つの政策分野に58の施策を実行することにより、本市のさらなる飛躍が達成できるものと信じている。
新年度予算の編成は、経済不況の影響により、21年度よりさらに市税収入が減少し、約6億円の落ち込みが見込ま

れるなど、厳しい経済状況下であるが、限られた財源を最大限に有効活用し、市民のくらしを守るため、真に必要な施策を重点的に取り組むこととした。

予算編成にあたっては、総合振興計画を基本として、これまで重点的に取り組んできた『子育て支援』『経済雇用対策』『安心安全対策』『環境対策』を継続して実施するとともに『市民から信頼される行政、市民が誇りをもてるまちづくり、市民の笑顔があふれるまち熊谷』を指して、予算を編成したところである。
一般会計は総額571億円で対前年度比2・88%、額では16億円の増となる。

特別会計は8会計を合計して275億7,500万円、対前年度比7・93%、23億7,500万円の減となる。これは主に下水道特別会計で公債費における繰上償還が終

わったことによるものである。

水道事業会計は72億9,602万2千円で前年度に比較し、2・27%、1億6,227万2千円の増となる。一旨の施政方針が述べられました。

4日の本会議では、条例案や予算案に対する質疑が行われました。そして各議案は、所管の常任委員会に付託されました。

5日には、総務文教常任委員会および福祉環境常任委員会において、また、8日には、市民産業常任委員会および都市建設常任委員会において、付託された議案についてそれぞれ審査が行われました。

11日、12日、15日の3日間は、19人の議員による市政に関する一般質問が行われました。

最終日(18日)の本会議では、各常任委員長から案件審査の経過および結果が報告され、質疑討論を行い、市長提出議案をすべて原案どおり可決しました。

また、議員提出議案4件のうち、3件を原案可決、1件は否決、委員会提出議案1件を原案可決しました。

そして、副市長の選任、および人権擁護委員候補者の推薦について同意し、3月定例会は閉会しました。

可決された主な議案

◇平成22年度熊谷市一般会計予算

歳入歳出予算の総額をそれぞれ571億円とするものです。

◇平成22年度熊谷市国民健康保険特別会計予算

歳入歳出予算の総額を195億3,299万円とするものです。

◇熊谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例

被用者保険の被保険者等が後期高齢者医療制度の被保険者となった場合における当該被保険者の被扶養者であった者に係る国民健康保険税の減免の特例を設けるものです。

◇熊谷市手数料徴収条例の一部を改正する条例

建築物に関する確認申請に係る手数料等の額を改定するとともに、汚染土壌処理業の許可の更新等の申請に係る手数料の額を定めるものです。

◇熊谷市農業活性化センター条例の一部を改正する条例
◇熊谷市農業研修センター条例の一部を改正する条例



熊谷市農業活性化センター

それぞれ、みそ加工機器の使用料の額を定めるものです。

◇熊谷市下水道条例の一部を改正する条例

排水設備工事責任技術者の試験制度の変更に伴う排水設備工事責任技術者の試験の名称の変更および登録の有効期間の延長等を行うものです。

◇熊谷市グリーンニューディール基金条例

地球温暖化対策を推進するための事業に要する経費の財源に充てるために設置するものです。

◇葬斎施設に関する事務の委託の廃止について

熊谷市と深谷市の葬斎施設の事務の委託の廃止について、協議するためのものです。

◇人権擁護委員候補者の推薦に同意

代島友一郎氏 橋上静枝氏

◇熊谷市副市長の選任に同意

嶋野 正史氏

請願の審査結果

◇国に対して、民間保育所運営費の一般財源化に反対し、また、全国一律の最低基準の維持を求める意見書の提出を求める請願 (審査結果・採択)



花を植える保育園児

市議会トピックス

熊谷市議会 スポーツ文化振興議員連盟が発足!

平成22年4月1日に、熊谷市議会議員の有志による『熊谷市議会スポーツ文化振興議員連盟』が発足しました。設立の趣旨は、「21世紀に入り社会・経済をはじめ色々な改革がなされている中で、スポーツ文化の重要性が特に高まり、スポーツ文化が「まちづくり」の大きなエネルギーになりつつある。「スポーツ熱中都市宣言」をしている本市にとって、スポーツ文化が市民の健康や文化の向上に資し、市の発展に資するところ大なることに鑑み、市議会議員の立場から、その振興を図り、市の発展に寄与しようとするものである。」というものです。

